

平成29年度

第1・2回公開研修会の報告

今年度は秦野市南が丘公民館にて、夏季公開研修会を2回行いました。主に秦野市、伊勢原市からたくさんの方々のご参加がありました。

第1回 8月 2日(水)

〈 講演 〉『共生社会に向けて子どもたちを育てるために』

東海大学文学部心理・社会学科教授

芳川 玲子氏

〈 午前：講演 〉

共生社会・インクルーシブ教育の押さえどころについてお話をいただきました。台湾におけるインクルーシブ教育の実践例についても知ることができました。日本に合ったインクルーシブ教育を展開するための考え方を分かりやすくお話いただき、2学期からのクラス運営のヒントをいただくことができました。

〈 午後：ワーク 〉

午後は、幼・小・中のグループごとにケース会議を行いました。7つの班がそれぞれ異なる事例について検討しました。「専門機関との連携」「感情コントロール」「時間を意識した行動」など多様な事例を扱いました。最後に芳川先生から、事例ごとの講評と解説をいただいたことで、午後だけで7つの事例への対応について考えを深めることができました。



第2回 8月 22日(火)

〈 講演 〉『ことばが不明瞭な子どもの指導』

秦野養護学校 言語聴覚士

小澤 芳則

今回は本校の言語聴覚士(ST)が、ことばが不明瞭な子どもへの指導についてお話ししました。講演の前半は、言語聴覚士とは一体何を専門としているのだろうか、どんなことを相談できるのだろうかといったサポート内容(言語、聴覚、嚥下等)についてご紹介しました。後半は、ことばの指導の基本について、指導を開始するにあたり考慮することや、原因の特定や目標の定め方、構音指導の方法などを事例の紹介等を交えて行いました。参加された方からは「言葉の不明瞭さが身体や口のどの部分からくるものなのか、どうアプローチしたらよいかを考えることができた。」

「指導の仕方が具体的で参考になった。」といった感想をいただきました。



問合せ先

県立秦野養護学校

サポート・スタディグループ

新妻・名古屋

TEL 0463-81-5901